

2008 年 1 月 31 日

ビー・エム・ダブリュー大阪に新たにフラッグシップ ショールームが誕生 西日本最大規模の新梅田支店がオープン

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:千代田区丸の内 1-9-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は同社の直接資本による販売子会社であるビー・エム・ダブリュー大阪株式会社が、2月1日、福島支店を移転し、西日本でビー・エム・ダブリュー正規販売ディーラーにおいて最大規模のショールームを備えた新梅田支店を新たに開設、営業開始をすると発表しました。

ビー・エム・ダブリュー大阪 新梅田支店開設に際し、ビー・エム・ダブリュー株式会社 代表取締役社長ヘスス・コルドバは次のように述べています。

「ビー・エム・ダブリュー大阪は、昨年10月の営業開始以来、期待どおり極めて大きな成果を上げています。2007年10-12月期には早くも大阪府内におけるプレミアムセグメントで販売実績第一位となった事実がそれを証明しています。新しい効率的な組織のもと、すべての社員が一丸となって顧客サービスの更なる向上に努めています。大阪都市圏における BMW ブランドのブランド認知向上および販売拡大という戦略は着実に展開しているのです。」

また、コルドバは「この新梅田支店は BMW ブランドにふさわしいプレミアム感あふれるショールームをもち、最新のCIも取り入れ、BMW ディーラーにおける新たなベンチマークとなります。同時に今後このフラッグシップショールームが、大きな潜在力を秘める大阪市中心部のマーケットで多くの新しいお客様を迎えるとともに、大阪圏全体における BMW ブランドのブランドイメージ向上にけん引役となることを期待しています。」と述べています。

● 最新・最大規模のショールームと大阪中心部に立地するワークショップ

この大きな潜在性を秘めたマーケットを背景として、新梅田支店は、最新の BMW ブランド CI を取り入れた、西日本で最大規模のフラッグシップとなるショールームを備えました。900 m²を超えるフロアのショールームは新車最大15台を展示可能とし、高さ8mを誇るショウ・ウィンドウは、大きな開放感とプレミアム・ブランドにふさわしい高級感を演出しています。究極のスポーツモデル「M」を常時展示する「M パドック(M Paddock)」および内外装の特別注文に対応する「BMW Individual」ブースも備えており、大阪地区の顧客の幅広いニーズに対応します。

また地下2階のワークショップは5台分のサービスベイを有し、今後の多くの顧客に対応できるサービス体制を整えています。ドイツ BMW AG と接続する最新情報ネットワーク“ISIS”と、効率的な部品ストックシステムが、迅速かつ正確な車両診断と点検・修理を可能としています。

- **大きなポテンシャルマーケット**

ビー・エム・ダブリュー大阪 新梅田支店は、JR 大阪駅から至近距離にあり、お客様にとって利便性の高い立地にあります。また新梅田支店の位置する大阪駅周辺部においては、“北ヤード”や中ノ島地区における再開発計画が進展しています。交通の要衝であるとともに、商業地・住宅地として着実な発展を遂げる同地域は、プレミアムマーケットとして極めて有望であるといえます。